

会場：1F ガーデンルーム EAST
タイムスケジュール：13:00～15:45

UD 関連器材展示・UD 陶器作り体験・Tabedas 販売
会場：1F ガーデンルーム前ロビー
タイムスケジュール：10:00～15:45

「食」を Key Word としたヘルスプロモーションの展開 第 7 報

— 歯科医の提案する五感を育てる食育 —

東西茨城支部食文化研究会

埴章一，綱川健一，河村晴敏，木下克己，木村守隆
伊藤博司，菊地長生，村木英司，土子吉久，村上正

1997 年より「食による人にやさしい町づくり」に地域社会を巻き込み，地域に基盤をおいたヘルスプロモーション活動による環境づくりをめざして活動してきました。第 8, 9, 10, 12, 13, 14 回茨城歯科医学会においては，公開講座として楽食の紹介，試食，楽食のテクニックを応用した糖尿病食の提案，人にやさしい UD 笠間焼の展示，シンポジウム，パックスッキングの紹介，UD フードの紹介と試食などを行い，これらを通じて，歯科医師会が主導する「食」を基軸とした健康づくりを支援する生活環境構築の位置付けを明確にしてきました。

私たちが提案してきた食べることの流れの中にバリアーをつくらぬ食のユニバーサルデザイン（UD）は，栄養摂取のためにただ食べるだけの「食行動」から，食べる楽しさや意欲引き出す「食行為」を通じて高い QOL を維持することができます。生活を支える医療としての歯科は，口腔の状態を良くし，さらに食べるために必要な環境を整えることが求められてきています。

今回は，人間の食行動・食行為さらには QOL に関わってくる食歴を食文化という切り口から考えてみたいと企画しました。栄養素だけにとらわれない食行為につながる「歯科医が提案する五感を育てる食育」です。脳を刺激し食べる意欲につながる情報は，10 歳までに何を食べて，どんな道具を使ってきたかなど深くその地域の文化と関わってきます。どのような取り組みが可能なのか 5 人のシンポジスト（ポケットファームどきどき：鎌田定宗氏，笠間市農政課：山口浩一氏，笠間保健センター：佐伯優子氏，茨城県歯科医師会：伊藤博司氏，茨城県工業技術センター窯業指導所：児玉弘人氏）をまじえて参加者の方々と考えてみたいと思います。さらに，楽食の試食会では 1997 年に茨城県食生活改善推進協議会が作成した茨城の郷土食を紹介した茨城食彩百景から間食（小豆はっと，とっちゃあなげなど数品）を取り上げ再現するとともに，その楽食バージョンを提案する予定です。郷土食を味わいながら語り合しましょう。